

神奈山・藤巻尾根山スキー報告 2

【山城】妙高・神奈山

【日程と天気】2018年4月8日（日） 晴れ一時曇・にわか雪

【メンバー】CL 菊池・加藤・井上（里）・Tさん（船山）

【行程】千葉（菊池家）3：00ー加藤・Tさん PUー関温泉休暇村駐車場（782m）8：53ー作業道ー藤巻山ー藤巻尾根（標高 1470m）13：06ー往路を滑走ー14：17 道路に帰還ー駐車場ー休暇村で温泉入浴（500円）ー高田公園（桜見物）ー帰葉

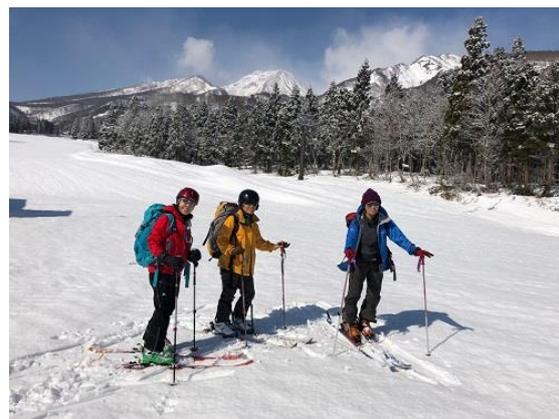
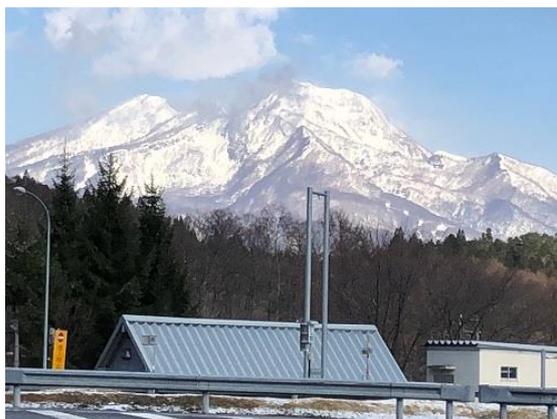


・初級～中級向け残雪期山スキーツアー、四阿山・乗鞍岳に続いて第3弾として神奈山藤巻尾根に行ってきた。

駆け足に進む春、標高の低いエリアは雪消えが早く賞味期限が短い。当初、神楽：霧ノ塔ー雁ヶ峰周回ルートと梅池から天狗原・白馬乗鞍を候補に挙げていたが、季節外れの寒気の流入で上信越は降雪があり、強風・低温予想であつたため、標高の低い鍋倉山か藤巻尾根に転進すること変更し、当日、湯ノ丸SAにて最終決定、妙高高原ICに向かった。「てんきとくらす」ではCランクで案の定、小布施あたりでは暗い曇空から小雪が舞っていたが、野尻湖PAあたりは、薄っすらと雪化粧、予想外に妙高山の雄姿が望める晴天にテンションは一気にアップした。



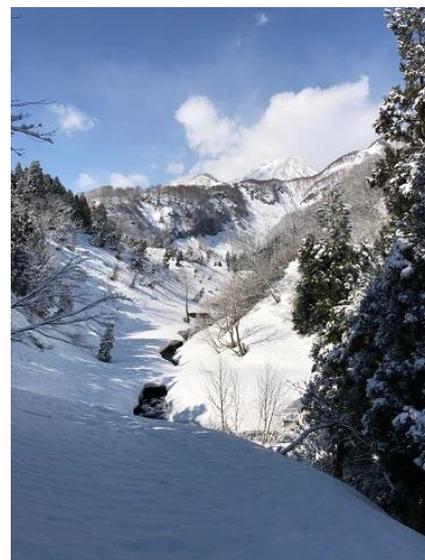
当日の関温泉スキー場の積雪は 285 cm、朝までの新雪が 5 cm 前後、休暇村の駐車場に駐車させていただき、終了した休暇村のゲレンデボトムがスタート地点（標高 782m）、藤巻尾根は 2 月にパウダー狙いで 2 回来ていたが、残雪期は初挑戦。このエリア初めての 2 名、計 4 名で、予想外の好天にルンルン気分で作業道？に向かった。



幕の沢は既に割れて水流が出ている。妙高山本峰が望めます。

橋を渡り直ぐの尾根を登るのが近道であるが、急斜面がしばらく続ききつい。道路を暫く進んで取りつきやすい所から藤巻山に向かう方が楽である。既に土が出ているところがあるが、何とか雪が繋がっているが、斜面へののり面は雪がない所が多い。どの辺から斜面にとりつけるか、偵察しながら進んだ。

新雪の下は固い雪質、クトーを装着して雪が繋がっているやや斜度が緩んだ地点から取り付いたが、かなり



苦勞した。斜度が急なところ、藪が煩い所などルート取りを工夫しながらハイクアップした。雪消えが早く低温のため、登り始めの部分が今回の核心部であった。慣れない女性陣のため、キックターンはできるだけ楽なところで行えるようにルーファイした。アドバイスと気合を入れて頑張らせた。



標高差 70~80m、苦勞して登り上げると安定した登りやすい斜面になり一安心し、下部に道路を見ながら記念撮影した。斜度が緩みクトーを外して少し進むと、妙高山本峰方面が望める開けた地点である。登りの核心部が終了した解放感を味わいながら藤巻山山頂に向かった。



やがて見事なブナの美林の緩斜面・中斜面を進むようになります。この辺のブナは細い木が主体です。根開けの時期でツリーホールは深い所で 1.5m~2m ほどです。気持ちよいブナ林に高度を上げていくと、太めの立派なブナの美林になりますが、鍋倉山などより全体的に細めです。ツリーランが



楽しみです。



ブナの美林・ツリーホールの時期は、まさに残雪期山スキーの旬の時期ですが、ツリーホールに転落したり、木に衝突しないように、慎重にスピードコントロールしながら滑走せねばなりません。林間では一般的に風は弱いですが、上部に行くに従い、風が強い所があります。対岸の幕ノ沢源頭部の急斜面、全層雪崩の跡、デブリが見えます。無木立の台地の直前のブナ林の急斜面です。クトー再装着は要せず登れました。



台地直下の急斜面をトラバース登高します。広い緩斜面の台地に乗るとやはり風が強く、ウィンドクラストした固い雪面の部分が多くなり、天気も悪化傾向です。

条件が良ければもう少し高度を上げるべくアイゼンを持参したが細尾根になる手前(1470m)から滑走することにした。今回の入山はわがPの他は、後続の愛知からの若

者 3 名のみで、わがPの下からエントリーであった。行動食をとり滑走支度が整った時点で記念撮影、台地のみ少しウィンドクラストしているが、全体的には滑りやすい雪質。滑走が楽しみであるが、女性陣は不安な面持ち。気持ちを和らげるように smile で記念撮影した。



新雪 5 cmほど、ウィンドクラストが少し気になる部分もあるが、まあまあの滑り心地。



俄か雪が舞って来て、面白い滑走開始である。女性陣も無難に滑走できて一安心、smile ハイポーズの記念撮影です。台地からブナ林に滑り込む。快適なザラメ滑走エリアになってきた。

気持ちよい滑走に満足して一息入れる。俄か雪も止み、陽が射してきた。ブナの木影が面白い。素晴らしく滑りやすい雪質、こんな癒しのブナ林ツリーランを堪能できるなんて

幸せです。Kさんの滑りも今日は光っています。さん、いつも安定した滑りです。リズムカルに滑ることをアドバイスしながら楽しくツリーランできました。





小生は今回テレマークですが、アルペンターンを加えながらツリーランを堪能できました。

低温のこの日は、雪面は腐れることなく、小気味よいショートターンを楽しめました。終盤の急斜面はツリーホール・樹間の狭さなど斜滑降・横滑りなどを駆使して慎重に下った。

往路を忠実に下ったがフィナーレ直前はこんな微妙なところもあります。上部はまだしばらく楽しめそうであるが、下部の賞味期限はあとわずかでしょう。標高差約 700m、所

要時間 5 時間 20 分で道路に帰還しました。道路脇の落の臺を採取し、満足度は 150% にアップしました。



妙高まで来て、有名な高田公園の桜を見物しないわけにはいきません。丁度満開の時期



でした。妙高山をバックに素晴らしい桜ですね!!! 信濃町在住期間に、高田公園（城跡公園）の夜桜見物に来ました。日本三大夜桜の一つで超人気のようです。日曜日の午後4時半頃にも拘らず、大勢の見物客が訪れていました。

女性陣はこの桜見物は初体験、高田ICで高速に乗り、あらいハイウェイオアシスの日本海鮮魚センターで割引のお寿司などを購入し車の中で食べて帰葉しました。日帰りでこれだけ楽しめたので、満足度は200%にアップしました。今回のGPSトラックです。クリックすると大きくなります。

